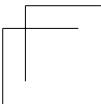
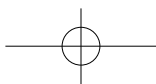
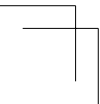
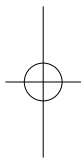
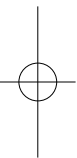
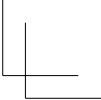
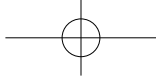
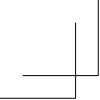


世界文化遺産の永続的保全と その持続的活用を目指して

2023年6月

(一社)世界文化遺産地域連携会議



日本再興に向け

世界文化遺産にはわが国の社会・文化・経済を回復させる大きな力があります。首里城やノートルダム寺院の悲劇から明らかなように、世界文化遺産は国民・人類のこころの拠り所です。また、年間4.8兆円(2019年度)の経済効果をもたらしてきたインバウンド面では「外国人観光客に人気の観光地ベスト20」中およそ半数を占める存在でもあります。

そのネットワークは国土全域(27都道府県)、また日本史の各時代(縄文から近代)にまたがるものに成長しました。関連する各地域は肩を組み、新しい時代に向けての活動に全力あげ取り組んでいる所です。

これからは個々の遺産だけでなく、遺産間・地域間、さらには日本全体で連携した取り組みの重要性もますます高まるものと考えます。

国におかれましても、国際観光旅客税等による世界遺産関連予算創設、「世界遺産特別法」制定、世界遺産連続イベントへの支援、全国縦断テーマ型 DMO の認証など、さらなる関連施策充実をお願いいたします。

(一社) 世界文化遺産地域連携会議

代表理事 門川大作 (京都市長)

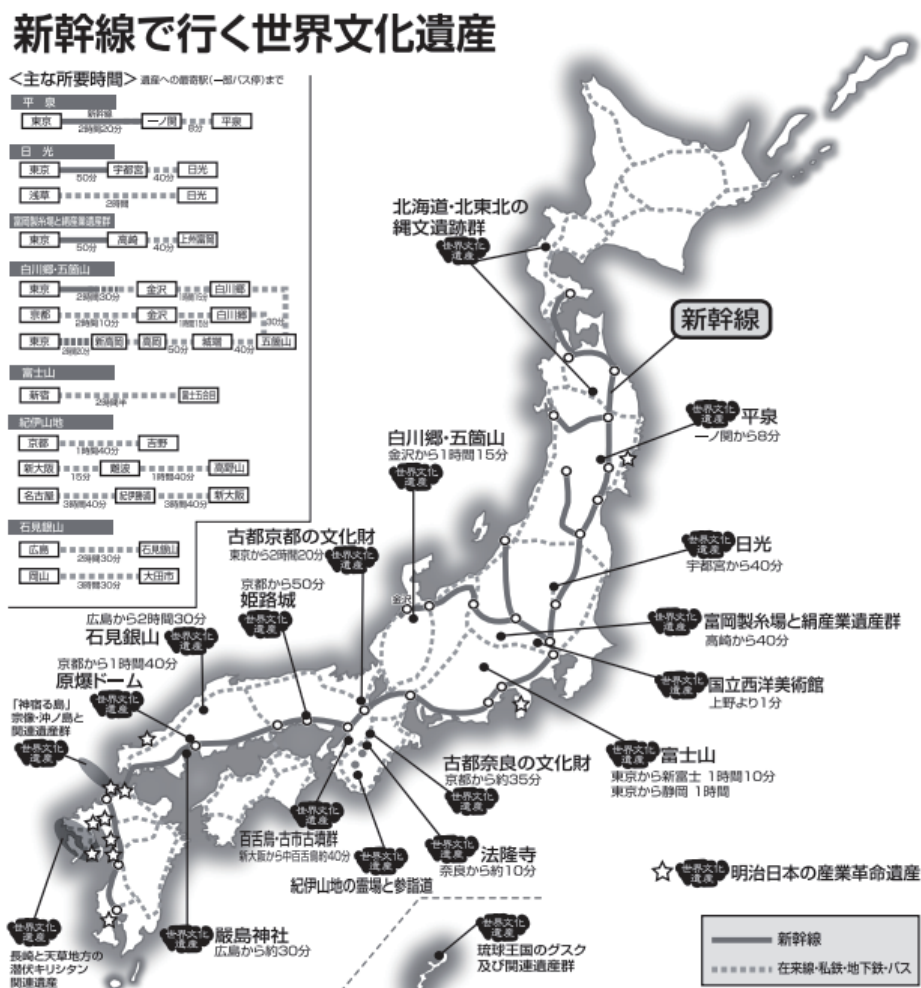
1 世界遺産を核とした日本インバウンドの再興

(1)「世界遺産連続イベント」への支援継続をお願いいたします。

(2) 海外への世界遺産情報発信予算(国費)を確保願います。

(3)「観光再始動事業」「文化遺産総合活用推進事業」「日本博」等 既存施策のより柔軟な運用をお願いいたします(個別地域だけではなく「世界遺産全体」についても支援対象に)。

(4) 欧米豪インバウンドを本格開拓する組織の1つとして、全国縦断テーマ型 DMO の認証をご検討願います。



世界遺産連続イベントの実施(海外での11言語映像視聴者115万人)

イベント名(2023開始月:一部変更有)	世界遺産名	既存映像(11言語) 最多視聴言語のアドレス ☆未収録	最多視聴国と人数 ※旧 URL 含
世界遺産桜リレー (1月)	沖縄—近畿—富士山— 東北	https://youtu.be/M4JrnWcbGFs (富士山の桜)	日本 (5万人)※
神倉神社・御燈まつり (2月)	紀伊山地の霊場と参詣道		
世界遺産劇場 IN 百舌鳥古墳群(3月)	百舌鳥・古市古墳群		
産業革命遺産連携 キャンペーン(4月)	明治日本の産業革命遺産		
平泉・藤原まつり (5月)	平泉	https://youtu.be/ReNx9aqU4oQ	台湾 (12万人)
温泉津・夜神楽 (通年)	石見銀山	https://youtu.be/SXAt_TFayK8 (撮影6月)	ブラジル (16万人)
燈花会等 (8月)	古都奈良の文化財	https://youtu.be/SRzbhmiJdvE	中国(4. 9万人) Bilibili 配信
広島・原爆の日 (とうろう流し:8月)	原爆ドーム		
縄文まつり2023 (9月)	北海道・北東北の縄文遺跡群	https://youtu.be/bvx3p-FUXzs	台湾 (12万人)
二条城イベント (10月)	古都京都の文化財	https://youtu.be/qByJyEHcuCA	米国 (2万人)※
世界遺産サミット (10月)	法隆寺		
首里城復興祭 (10月)	琉球王国	https://youtu.be/Rx80Fjbeito	豪州 (16. 8万人)
姫路城イルミネーション(11月)	姫路城	https://youtu.be/VrWWvt1kL28	米国 (4万人)※
白川郷・五箇山 放水訓練(11月)	白川郷・五箇山	https://youtu.be/CzsH0f0vk2k	米国 (5万人)※
サイレント・クリスマス(12月)	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	https://youtu.be/3AaSzcVIE6s	韓国 (11. 9万人)

世界遺産スタンプラリー (参加者31万人:2022.3-2023.3)

2 「世界遺産特別法」の制定等

- (1)「世界遺産特別法」制定により、世界遺産の永続的保全とその持続的活用を重要な国策の一つに位置づけて頂きますようお願いいたします。
- (2)遺産影響評価及び緩衝地帯の在り方について国として検討を進め、所要の法整備と財政支援を伴う制度づくりをお願いいたします。
- (3)各世界遺産の個性を踏まえたきめ細かな保全施策を実施願います。
- (4)近年、火災・地震や異常気象による自然災害が多発している状況に鑑み、世界遺産の防災対策や長期修繕のための優遇措置への国際観光旅客税の活用や、世界遺産周辺整備における歴史まちづくり法などを活用したさらなる支援の充実をお願いいたします。



富士山周辺での太陽光パネル問題



バッファゾーンでの私権制限などに大きな課題



合掌造りでは茅農家への支援が必要



記憶に新しい首里城火災



原爆ドームでの耐震工事

3 世界遺産など都道府県観光資源の再整理

所轄官庁を越え、世界遺産を中心に国立公園・日本遺産・伝統的建造物群保全地区等の観光資源を、各都道府県別に再整理していくことを提案いたします。

主な都道府県別観光資源

都道 府県	世界遺産	①国立公園 ②日本遺産 ③伝建地区 ④都市魅力・温泉・特産品・・・
北海道	知床 北海道・北東北の縄文遺産群	①利尻礼文サロベツ国立公園、阿寒摩周湖国立公園、釧路湿原国立公園、大雪山国立公園、支笏洞爺国立公園、知床国立公園 ②江差の五月は江戸にもない、カムイとともに生きる上川アイヌ、本邦国策を北海道に観よ！、「鮭の聖地」の物語、北前船寄港地・船主集落、炭鉄港 ③函館市元町末広町 ④札幌・スキー・海の幸・・・
青森	白神山地 北海道・北東北の縄文遺産群	①十和田八幡国立公園、三陸復興国立公園 ②北前船寄港地・船主集落 ③弘前市仲町、黒岩市中町 ④ねぶた祭・りんご・・・
岩手	平泉、明治日本の産業革命遺産 北海道・北東北の縄文遺産群	①十和田八幡平国立公園、三陸復興国立公園 ②みちのく GOLD 浪漫 ③金ヶ崎町城内諏訪小路 ④宮沢賢治・花巻温泉・・・
秋田	白神山地、北海道・北東北の縄文遺産群	①十和田八幡国立公園 ②北前船寄港地・船主集落 ③横手市増田、仙北市角館 ④なまはげ・さくらんぼ・・・
栃木	日光の社寺	①日光国立公園、尾瀬国立公園 ②近世日本の教育遺産群、地下迷宮の秘密を探る旅、那須野が原 ③栃木市嘉右衛門町 ④鬼怒川温泉・餃子・・・

群馬	富岡製糸場と絹産業遺産群	①日光国立公園、尾瀬国立公園、上信越高原国立公園 ②かかあ天下、里沼 ③桐生市桐生新町、中之条町六合赤岩 ④草津温泉・だるま・・・
東京	国立西洋美術館 小笠原	①秩父多摩甲斐国立公園、富士箱根伊豆国立公園 ②霊気満山 高尾山 ③秋葉原・浅草・・・
山梨	富士山	①秩父多摩甲斐国立公園、富士箱根伊豆国立公園、南アルプス国立公園 ②葡萄畑が織りなす風景、星降る中部高地の縄文世界 ③富士急ハイランド・ワイン・・・
富山	白川郷・五箇山	①中部山岳国立公園、白山国立公園 ②加賀ゆかりの町人文化が花開くまち高岡、北前船寄港地・船主集落、木彫刻美術館・井波 ③高岡市山町筋、高岡市金屋町、南砺市相倉、南砺市菅沼 ④黒部ダム・・・
静岡	富士山 明治日本の産業革命遺産	①富士箱根伊豆国立公園、南アルプス国立公園 ②箱根八里、弥次さん喜多さん 駿州の旅 ③焼津市花沢 ④伊豆半島ジオパーク、温泉、日本茶、ワサビ・・・うなぎ・・・
三重	紀伊山地の霊場と参詣道	①伊勢志摩国立公園、吉野熊野国立公園 ②祈る皇女斎王のみやこ斎宮、忍の里 伊賀・甲賀、海女に出会えるまち ③亀山市関宿 ④松坂牛・真珠・伊勢神宮・・・
岐阜	白川郷・五箇山	①中部山岳国立公園、白山国立公園 ②戦国城下町・岐阜、飛騨匠の技・こころ、1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼 ③高山市三町、高山市下二之町大新町、美濃市美濃町、恵那市岩村町本通り、郡上市郡上八幡北町、白川村荻町 ④高山・盆おどり・・・
滋賀	古都京都の文化財	②琵琶湖とその水辺景観、琵琶湖疏水、忍びの里 伊賀・甲賀、きっと恋する六古窯、1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼、海を越えた鉄道 ③彦根市河原町芹町地区、大津市坂本、近江八幡市八幡、東近江市五箇荘金堂

京都	古都京都の文化財	①山陰海岸国立公園 ②琵琶湖疏水、日本茶800年の歴史散歩、鎮守府・舞鶴、北前船寄港地・船主集落、丹後ちりめん回廊、1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼 ③京都市上賀茂、京都市産寧坂、京都市祇園新橋、京都市嵯峨鳥居本、南丹市美山町北、伊根町伊根浦、与謝野町加悦 ④日本茶・日本酒・間人蟹・・・
大阪	百舌鳥・古市古墳群	②北前船寄港地・船主集落、竹内街道横大路、中世に出会えるまち、中世日根野の風景、葛城修験、女人高野、龍田古道の心臓部「亀のセ」を越えて行け、1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼 ④大阪の都市魅力・大阪万博・・・
兵庫	姫路城	①瀬戸内海国立公園、山陰海岸国立公園 ②丹波篠山デカンショ節、国生みの島・淡路、銀の馬車道 鉱石の道、日本第一の塩を産したまち、北前船寄港地・船主集落、きつと恋する六古窯、因幡・但馬、伊丹と灘五郷、1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼、日本海が生んだ絶景と秘境 ③神戸市北野町山本通、豊岡市出石、篠山市篠山、篠山市福住、養父市大屋町大杉 ④神戸牛・有馬温泉・城崎温泉・宝塚・・・
奈良	法隆寺 古都奈良の文化財 紀伊山地の霊場と参詣道	①吉野熊野国立公園 ②日本国創世のとき一飛鳥を翔た女性たち、美林連なる造園発祥の地・吉野、葛城修験、女人高野、竹内街道・横大路、龍田古道の心臓部「亀のセ」を越えて行け、1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼 ③橿原市橿原今井町、五條市五條新町、宇陀市松山 ④筆・奈良漬・・・
和歌山	紀伊山地の霊場と参詣道	①吉野熊野国立公園、瀬戸内海国立公園 ②鯨とともに生きる、葛城修験、女人高野、、醤油製造発祥の地・湯浅、絶景の宝庫和歌の浦、広川の防災遺産、1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼 ③湯浅市湯浅 ④梅干し・まぐろ・白浜温泉・・・
島根	石見銀山	①大山隠岐国立公園 ②石見神楽、石見の火山が伝える悠久の歴史、津和野今昔、出雲国たたら風土記、北前船寄港地・船主集落、日が沈む聖地・出雲 ③大田市大森銀山、大田市温泉津、津和野市津和野 ④出雲そば・しじみ・・・

広島	原爆ドーム 厳島神社	①瀬戸内海国立公園 ②尾道水道が紡いだ中世からの箱庭都市、鎮守府・呉、日本最大の海賊の本拠地・芸予諸島、北前船、鞆の浦 ③呉市豊町御手洗、竹原市竹原地区、福山市鞆町 ④お好み焼き・牡蠣・・・
山口	明治日本の産業革命遺産	①瀬戸内海国立公園 ②関門“ノスタルジック”海峡 ③萩市堀内地区、萩市平安古地区、萩市浜崎、萩市佐々並市 ④秋芳洞・ふぐ・・・
福岡	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 明治日本の産業革命遺産	①瀬戸内海国立公園 ②古代日本の「西の都」、関門“ノスタルジック”海峡、砂糖文化を広めた長崎街道 ③八女市黒木、うきは市筑後吉井、うきは市新川田竈、朝倉市秋月 ④博多ラーメン・明太子・・・
佐賀	明治日本の産業革命遺産	②日本磁器のふるさと肥前、砂糖文化を広めた長崎街道 ③鹿島市浜庄津町浜金屋町、鹿島市浜中町八本木宿、嬉野市塩田津、有田町有田内山 ④吉野ヶ里遺跡・有田焼・佐賀牛・・・
長崎	明治日本の産業革命遺産、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	①西海国立公園、雲仙天草国立公園 ②国境の島―壱岐・対馬・五島、鎮守府・佐世保、日本磁器のふるさと肥前、砂糖文化を広めた長崎街道 ③長崎市東山手、長崎市南山手、平戸市大島村神浦、雲仙市神代小路 ④ちゃんぽん・カステラ・・・
熊本	明治日本の産業革命遺産、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	①雲仙天草国立公園、阿蘇くじゅう国立公園 ②日本でもっとも豊かな隠れ里―人吉球磨、菊池川流域 今昔「水稻」物語、相良700年が生んだ保守と進取の文化、八代を想像した石工たちの軌跡 ③くまもん・焼酎・・・
鹿児島	屋久島・明治日本の産業革命遺産	①雲仙天草国立公園、霧島錦江湾国立公園、屋久島国立公園、奄美群島国立公園 ②薩摩の武士が生きた町 ③出水市出水麓、薩摩川内市入来麓、南九州市知覧、④西郷隆盛 さつま揚げ
沖縄	琉球王国のグスク及び関連遺産群	①やんばる国立公園、慶良間諸島国立公園 ③渡名喜村渡名喜島、竹富町竹富島 ④沖縄料理・ダイビング・・・

4 各遺産地別の現況と要望内容(登録順)

－ 4 －

姫路城(兵庫県姫路市)



- ・世界文化遺産・国宝姫路城は、平成27年に完了した保存修理以降、国内外より多くの方にお越しいただいていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、入城者数は大幅に減少しています。

- ・姫路市においては、令和5年12月に姫路城世界遺産登録30周年を迎えることから、姫路城の保全管理・活用をより一層進めていくことを国内外

にアピールしていくため、世界遺産登録 30 周年記念事業を実施します。また、登録 DMO に登録された姫路観光コンベンションビューローと連携し、姫路城を核とした観光誘客事業を展開し、大阪・関西万博やワールドマスタースゲームズ関西などの国際的催事の開催に向け、引き続き海外への情報発信に努め、誘客を喚起するなど、インバウンド観光の推進を図っています。

- ・日本の素晴らしさを世界の皆さんと共有することができるよう、情報発信に対し、さらなる各種支援を要望します。

法隆寺地域の仏教建造物(奈良県斑鳩町)



- ・世界遺産の存在を地域経済の活性化につなげて行くことが課題です。「法隆寺」だけを観光して帰る「点」型観光から、斑鳩町のもつ「歴史的風致」を散策・回遊する「まちあるき観光」への転換をめざしています。

- ・令和5年度は法隆寺世界遺産登録30周年を迎えることから世界遺産の魅力を広く発信するために、世界遺産登録30周年記念事業を実施します。これ

を契機に新たな観光産業を発展させ、まちのにぎわいを創出するため、創業支援等に取り組んでいます。

- ・世界文化遺産・法隆寺を含む斑鳩の里の魅力を内外にPRするため、さまざまなイベント開催も含めた普及啓発事業への支援をお願いします。

－ 9 －

古都京都の文化財（京都府京都市・宇治市、滋賀県大津市）



・京都市では、平成19年の新景観政策により景観保全を進め、平成30年には、世界遺産等及びその周辺において、事前協議（景観デザインレビュー）制度を創設するなど、地域と調和した計画の策定が進められるよう仕組みを整えてきました。

・宇治市では平成14年に景観条例を施行、平成18年には都市計画の高度地区を変更しています。さらに、景観計画や文化的景観、風致

地区の制度を活用し、世界遺産周辺のまちなみの保全に努めています。

・大津市でも、古都保存法に基づく歴史的風土特別保存地区に比叡山延暦寺が指定されており、景観保存に取り組んでいます。

・そうした取組を通じ、世界遺産とその周辺市街地の更なる魅力向上を図るためには、国におかれましても資産や特にバッファゾーンの在り方の検討や、自治体をサポートする制度等の創設、国の体制の拡充が必要であると感じています。

・また昨今、全国的に火災や台風被害等が多く発生しています。貴重な文化遺産の維持継承のため、復旧や防災防犯の設備充実等に更なる支援を要望します。

白川郷・五箇山の合掌造り集落（岐阜県白川村・富山県南砺市）



・世界遺産事業枠として国のきめ細やかな補助メニューの充実を求めます。

・茅葺き屋根の葺き替えや軸部修理については文化庁による国庫補助を受け継続的に実施しておりますが、国庫補助の補助額下限に満たないような茅葺き屋根のメンテナンス経費や修景事業などの小規模事業については自主財

源により実施している状況です。また茅葺き屋根の維持に不可欠な茅資材を調達するための茅場の新規造成整備等の補助メニューがない状況です。

原爆ドーム（広島県広島市）



・原爆ドームは通常の文化財建造物とは異なり、破壊された建物を破壊された時点の状態に限定して全体を保存することが、最も文化財としての価値を示すことになります。が、このような建物の保存技術は確立していません。

保存工法や保存材料に関する技術的な支援を要望します。

厳島神社（広島県廿日市市）



・世界に類のない海中に建つ社殿建築であり、自然環境上の大きな問題を抱えています。

また、建造物群の保存修復にも相当額の事業費負担が生じていることから、国庫補助の加算措置などの支援をお願いします。

・地方圏を越えた外客誘致への積極的な取り組みをお願いいたします。

（例：中国・近畿には10件の世界文化遺産指定地があります。以外に東京・日光・富岡・富士山、近畿・白川郷五箇山、中国・九州、縄文遺跡・平泉 等）

古都奈良の文化財（奈良県奈良市）



- ・国内外を問わず、日本の世界文化遺産巡りを促すような統一的な観光キャンペーンを展開し、それに対する補助金等の支援を要望したいと思います。

- ・世界遺産の近くに「ならまち」と呼ばれる歴史的景観を残す町並みがあります。バッファゾーンとなっており、市も町家の保存活動を進めて

はいますが、住民にとっては改修費等の問題もあり、プレハブ住宅・駐車場化が進むなど、古都奈良の風情が失われつつあります。市民により積極的に学習機会の提供を行うなどして、「世界遺産のあるまち」という地域に対する誇りを持ってもらい、自然にその町並みを受け継ごうと思えるような仕組みを作っていければと考えていますが、なかなか思うに任せない状況があります。

- ・コアゾーンとバッファゾーンの一体的な保全と魅力向上の取り組みについて、支援策の検討をお願いします。

日光の社寺（栃木県日光市）

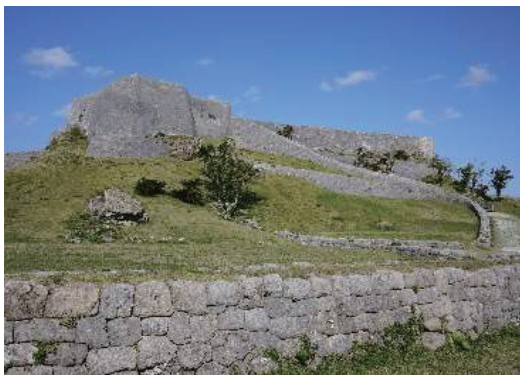


- ・世界遺産の継続的な活用による地域活性化が最大の課題です。

- ・各構成資産を世界遺産として認識できるマークがないことに問題を感じています（世界遺産に関連する行政が複雑な手続きなくユネスコマークを共通使用できるようになれば理想的です）。

- ・史跡の整備・活用計画に基づいた域内の各種整備事業の調整、観光シーズンにおける渋滞対策といった課題もあります。

琉球王国のグスク及び関連遺産群（沖縄県那覇市・うるま市・南城市・中城村・北中城村・今帰仁村・読谷村）



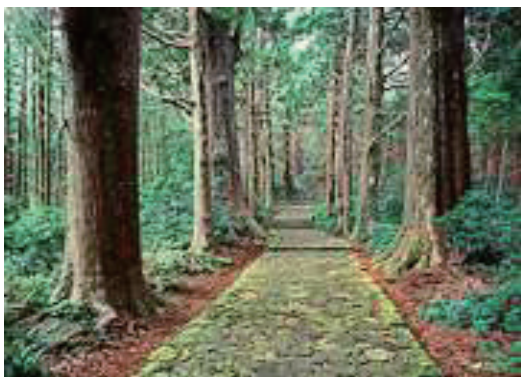
・焼失した首里城の一日も早い復興を願っています。

・また関連し、沖縄記念国営公園（首里城公園・海洋博公園）に県内世界遺産（首里城跡以外に今帰仁城跡、座喜味城跡、勝連城跡、中城城跡、園比屋武御嶽石門、玉陵、識名園、斎場御嶽）等の情報センター機能を持たせ、沖縄の歴史への理解促進や、各世界遺産への誘導ができるよう

にさせていただくことを提案いたします。

・加えて、緩衝地帯での便益施設などへの補助制度の創設、グスクを遠目から見るためのビューポイントの整備、コア内のバリアフリー化推進をご支援願います。

紀伊山地の霊場と参詣道（三重県・奈良県・和歌山県）



・各省庁それぞれで行っている世界遺産に対する施策が、省庁間連携により、よりきめ細かな支援となることを願っています。

例えば、コアゾーンの土地の買上げや修理整備に国庫補助が設けられていますが、補助の対象は200万円以上の事業です。一方、古道の修繕としては石畳の破損や土砂の崩落、倒木などの小規模な破損が多いため、200万円以下

の事業がほとんどとなっています。

・古道（熊野古道、大峯奥駈道など）の両側約50メートルはバッファゾーンとなっており、関係市町村の景観条例などで保護されていますが、国庫補助の対象にはなっていません。これらを次世代に引き継いでいくためには、バッファゾーンにかかわる国庫補助金の確保が必要です。

・より根本的なものとして、過疎化・高齢化により古道沿いの集落の中には廃村に近い状態の地域もあります。移住定住策に対する手厚い支援をお願いします。

石見銀山遺跡とその文化的景観（島根県大田市）



・世界遺産登録後の平成19・20・21・22年の4回、見学道や遺産域内の人家に最大3・6トンの落石が発生しました。落石対策を目的としたコアゾーンの岩石分布調査の結果、対策が必要な箇所が22地区あることが明らかになりました。また、平成30年4月に発生した大田市を震源とする島根県西部地震ではコアゾーン内で20箇所の被害が発生しました。世界遺産に対する国の防災事

業、災害復旧事業の充実が求められます。

・現在、県と市が連携して、県「治山事業・急傾斜地崩壊対策事業」、国県補助「史跡等保存整備事業」などにより対策を実施していますが、長期間に多大な予算を必要としており、県市のみではその安定的な財源確保は困難です。

・鉱山遺跡としてはアジア初の世界遺産であると同時に、世界遺産中の重要伝統的建造物群保存地区などに約800人の地域住民が暮らしていることにも価値があり、持続可能な世界遺産とするため、その保全と活用に関する包括的な支援が必要です。また、急増する外国人観光客を受け入れるにあたり、多言語での案内標識等周辺環境整備への支援が必要です。

平泉 — 仏国土（浄土）を現す建築・庭園及び考古学遺跡群（岩手県平泉町）



・観光による東北地方の復興と訪日イメージの回復に、さらに力を入れていただくようお願いします。

・世界遺産委員会での決議に伴い発生した報告書作成や調査研究、計画策定の遂行事業に対し、国からのさらなる財政支援を要望します。

・緩衝地帯の景観形成・土地利用の誘導、遺産影響評価の実施には現行の文化財保護法と景観法等では限界があることから、特別法制定による法的な位置づけと財政支援を伴う規制等を要望します。



富士山（山梨県・静岡県）

・資産範囲（コアエリア）及び緩衝地帯（バッファゾーン）における、世界遺産の顕著で普遍的価値（OUV）に影響を及ぼす事業等の抑制について、都市計画法や景観法といった法令の枠組みに加え、富士山世界文化遺産協議会（会長・川勝平太静岡県知事）を中心と

する保存管理体制に遺産影響評価（HIA）の考え方・手法を導入することとし、このほど「遺産影響評価マニュアル」が策定され、運用が開始されました。これにより、早い段階で事業等を捕捉し、世界遺産への影響を評価し、事業者へ働きかけていくためのしくみが整いました。しかしながらこのマニュアルは法令に基づくものではなく、その効果は限定的であると言わざるを得ません。良好な景観形成や土地利用を誘導するためには、遺産影響評価にかかる法の枠組みづくりと国策としての位置づけ、財政支援を伴う規制が必要と考えます。

富岡製糸場と絹産業遺産群（群馬県富岡市・伊勢崎市・藤岡市・下仁田町）



・富岡製糸場の保存修理と整備活用が最重要課題であり、来場者の安全を確保しながら100棟ほどもある建造物群の保存整備を進めるには、膨大な費用と長い年月がかかります。このような中、6年に及ぶ歳月をかけ保存整備を終えた国宝「西置繭所」がグランドオープンいたしました。今後も、順次保存整備を行っていく多数の建造物群について、今まで以上の財政支援を要望いたします（富岡市）。

・史跡・重要文化財については国庫補助により整備を進められますが、外国人観光客誘致を図って行く観点からもバッファゾーン内外における整備の国庫補助金の確保、また案内標識等の周辺環境整備の充実などが必要です。世界遺産に関する国の補助メニューの充実を求めます（4市町共通）。

・観光客には世界遺産としての価値をご理解いただいた上で安全に見学してもらう必要があります。現地や案内所等に解説員や警備員を配置する必要があります。それらの雇用・配置・養成に関する補助の充実が必要です（4市町共通）。

明治日本の産業革命遺産（釜石市・伊豆の国市・萩市・中間市・佐賀市・
長崎市・宇城市・鹿児島市ほか）



・8県11市におよぶ23資産のシリアル・ノミネーションとしてのつながりを理解していただくことが重要です。情報発信・標識整備・資源案内などに関し、国のさらなるご協力をお願いいたします。

・端島はじめ多くの資産において、保存整備にかかる財源が多額となり、地元自治体の負担が大きいことから、国庫補助率のかさあげなど世界遺産

に特化した財政支援を要望します。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群（福岡県宗像市・福津市）



・信仰の遺産として8つの構成資産からなるシリアル・ノミネーションです。顕著な普遍的価値を損なわないよう資産の保存と緩衝地帯の良好な景観の保全を目的に、以下のとおり国に要望します。

・本遺産群は海との密接な関係を持っています。漂着・漂流するゴミは後を絶たず、景観や遺産群

を支える人々の生業にも悪影響を与えています。ついては、世界遺産の保全に対する理解促進のため、ゴミ減量への周知や事業実施に一層努められるとともに、漁業関係者による海洋ゴミ回収やボランティアによる海岸清掃への財政的支援を要望します。

・本遺産群をはじめ多くの遺産において、保存整備にかかる財源が多額となり、所有者や地元自治体負担が大きいことから、国庫補助率のかさ上げや、世界遺産に特化した有利な起債制度の創設などの財政支援を要望します。

・顕著な普遍的価値に負の影響を及ぼすおそれのあるソーラーパネルや風力発電施設の設置については、現状では法的に禁止する手段がありません。このような資産周辺における共通課題については、所要の法整備を行うなど早急な対応を要望します。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産（長崎市・佐世保市・平戸市・南島原市・五島市・天草市ほか）



- ・長崎県と熊本県に分布する 12 資産で構成されています。潜伏キリシタンの伝統文化を色濃く残す集落では現在も生活生業が営まれており、その持続的な保全と活用が最大の課題です。保護を万全なものにするため、現行の補助制度に更なる財政支援措置を講じるとともに、世界遺産に特化し小規模事業にも配慮した包括的な支援制度創設を求めます。

- ・構成資産には黒島などバス・タクシーがなく、観光客の移動手段が主に徒歩とならざるを得ない場所が含まれています。新たな交通手段確保に係る支援を要望します。

- ・世界的な要請に伴う再生可能エネルギー関連施設（風力発電施設、大規模太陽光発電施設等）の設置推進と世界遺産の保護を両立させるため、民間事業者がそれらの設置を計画する場合には、早期に地元自治体の同意を得ることを義務付けるなどの制度づくりを求めます。

百舌鳥・古市古墳群（大阪府堺市ほか）



- ・百舌鳥・古市古墳群は構成資産が市街地に点在しています。登録の決議文では緩衝地帯の周辺地域においても保護すべき対象とその手段について検討することが求められ、既存の法令を組み込んだ遺産影響評価（HIA）マニュアルを作成しました。しかし、既存法令で問題がない開発でも HIA の実施を求める場合がありますが、HIA は根拠法令がなく、評価作業や評価結果の反映に開発者の協力が得られない可能性があります。これまで

以上に確実に資産と緩衝地帯の保全を行うため、HIA について開発者の義務を明確にする法整備を要望します。

- ・古墳群の保全のためには、国内外の多くの方に古墳群の価値や魅力を知っていただくことが重要です。そのためには、古墳時代に興味を持っていただける情報発信や、保存と活用の両立を図りつつ受入環境の整備を進めることが必要です。これら情報発信イベントや周遊支援アプリ、解説看板など来訪者の周遊環境の維持・更新等に対する支援を要望します。

北海道・北東北の縄文遺跡群（北海道・青森県・岩手県・秋田県）



- ・北緯40度以上の豪雪地帯に位置する新規登録遺産です。

- ・三内丸山遺跡を遺産全体のセンターとして位置づけ、構成資産の紹介や積極的な誘導をおこなっていただくことをご検討願います。

- ・盛土遺構の遺構、環状列石、復元建物や園路等につき積雪や凍害を避けるための保

存処理を行っていますが、他の地域と比べ経年劣化を抑制するための取り組みが不可欠なことから、世界遺産の保存および管理のための研究と手厚い補助を求めたいと考えます。

- ・多くの遺跡において、そこに至るアクセスに大きな問題を抱えています。道路や誘導看板の整備、定額タクシー確立などに向けたご支援をお願いします。

- ・景観の保全のため構成資産内の不適切な建造物の撤去が大きな課題となっている遺産があります。資産の顕著な普遍的価値を保全・継承していくため構成資産と緩衝地帯の一体的な保全と魅力向上に取り組めるよう支援願います。

参考資料 1 (一社) 世界文化遺産地域連携会議 (2023年4月30日現在)

顧問	松浦晃一郎 (元・ユネスコ事務局長)		
代表理事	門川大作 (京都市長)		
副代表理事	松井一實 (広島市長)	仲川げん (奈良市長)	清元秀泰 (姫路市長)
	粉川昭一 (日光市長)	中西和夫 (斑鳩町長)	
理事	小野寺晃彦 (青森市長)	櫻田宏 (弘前市長)	倉光弘昭 (つがる市長)
	小又勉 (七戸町長)	山崎結子 (外ヶ浜町)	津谷永光 (北秋田市長)
	小野寺美登 (一戸町長)		
	青木幸保 (平泉町長)		
	榎本義法 (富岡市長)	臂泰雄 (伊勢崎市長)	新井雅博 (藤岡市長)
	原秀男 (下仁田町長)		
	服部征夫 (東京都台東区長)		
	堀内茂 (富士吉田市長)	渡辺喜久男 (富士河口湖町長)	
	望月幹也 (身延町長)	高村正一郎 (山中湖村長)	
	難波喬司 (静岡市長)	須藤秀忠 (富士宮市長)	村田悠 (裾野市長)
	勝又正美 (御殿場市長)	小長井義正 (富士市長)	込山正秀 (小山町長)
	成原茂 (白川村長)	田中幹夫 (南砺市長)	
	佐藤健司 (大津市長)	松村淳子 (宇治市長)	
	河上敢二 (東紀州地域振興公社理事・熊野市長)	中井章太 (吉野町長)	
	車谷重高 (天川村長)	真砂充敏 (田辺市長)	堀順一郎 (那智勝浦町長)
	平野嘉也 (高野町長)	井澗誠 (白浜町長)	
	永藤英機 (堺市長)		
	松本太郎 (廿日市市長)		
	楫野弘和 (大田市長)		
	伊豆美沙子 (宗像市長)	原崎智仁 (福津市長)	
	野田武則 (釜石市長)	山下正行 (伊豆の国市長)	田中文夫 (萩市長)
	福田健次 (中間市長)	坂井英隆 (佐賀市長)	鈴木史朗 (長崎市長)
	守田憲史 (宇城市長)	下鶴隆央 (鹿児島市長)	
	宮島大典 (佐世保市長)	黒田成彦 (平戸市長)	松本政博 (南島原市長)
	野口市太郎 (五島市長)	馬場昭治 (天草市長)	
	知念覚 (那覇市長)	中村正人 (うるま市長)	古謝景春 (南城市長)
	久田浩也 (今帰仁村長)	浜田京介 (中城村長)	比嘉孝則 (北中城村)

※以外に民間理事・社員約70名

参考資料２ 世界文化遺産地域連携会議 設立趣意書

(2011年6月)

わが国が世界遺産条約を批准したのは1992年、また、第1号の世界文化遺産として姫路城と法隆寺が認定を受けたのは1993年のことである。

以降20年近くの間、「顕著な普遍的価値」を持つ文化遺産としては11箇所が登録され、各々の課題を抱えつつもその維持保全や周辺整備、あるいは「持続的な観光」の推進といったテーマに取り組んできた。

しかし、残念なことに、世界文化遺産に関連する各市町村間で遺跡の保全やそれを核としたまちづくり、観光のあり方等について日常的かつ広範に情報交換し、互いに啓発しあっていくような場は十分に設けられてこなかった。

世界文化遺産を持つ地域は全国各地に及んでおり、その内容、規模、範囲などにはそれぞれの個性が見られる。

だが、各地域は明らかに共通する、大きな課題を抱えてもいる。

文化遺産の維持保全については、いかに百年千年のスパンでそれを達成していくか。

文化遺産を核としたまちづくりの長期計画を作成し、それをどう形にするか。

観光に関しては、世界文化遺産の魅力をいかに発信するか、また時間の経過にともなう「ブーム」の衰退や観光客増がもたらすマイナス要因をどう捉え、「顕著な価値の普遍性」を次世代に継承していくか、といった点などである。

まず必要なのは、各地域が過去おこなった取り組みやこれからのビジョンを披露しあうことを出発点に、相互に応用可能なヒントを探り出していくといった作業であろう。

各関連市町村のトップが一堂に会し、また日常的な交流を始めていくことの第一の意義は、各方面での理念、ノウハウ、情報などの共有と相互活用にある。

会を発足させる二つ目の意義は、世界文化遺産に対するより広範な支援の獲得である。

民間セクターとの関係においては、例えばメディアや旅行会社、スポンサーといった協力者に対する共通の窓口を設けておくことにより、支援の輪を大きく拡大していくことが期待される。

一方で、国において世界文化遺産の存在を強く意識し、地元におけるその維持・保全・活用への努力を十分に把握・評価しているのは今の所、文化庁内だけにとどまっている。

いわゆる省庁間の縦割り意識の下、例えば遺産周辺整備などに対する、政界や他省庁における理解・認識はまだまだ不十分なものにすぎない。

また、世界文化遺産は「観光」の語源となる「国の光」の最たるものとしてすでに国際的認知を得ているが、「観光立国」を旗印とする観光庁においてすら、それらを積極的に評価・支援・活用していく気運は十分とは言えない。

会の結成が目指す第二の点は、各関係地域が共同行動を起こし円滑な外部支援を受ける体制を作るとともに、国等に対して広範な提案をおこなうことによって、やや行き詰まり感を見せ始めている現状を打開・改善していくことにある。

そして第三の意義は「無理のないゆるやかな連携」の中で、地域自らが様々な共同事業を形にし、各地域のさらなる活性化や事業支出の効率化を図っていくことである。

大きな資金負担なしに実現可能な共同・連携事業は多数、考えられる。参加意思をもつ地域間での事業（例えば海外・東京などでのPR活動）、複数地域に共通するニーズを満たすための事業（例えばイベントや観光ゴミ持ち帰り運動）、ある地域が企画する事業（例えばシンポジウムや市民交流）に会や他地域が協力していくことなどである。

わが国の文化・観光を振興し、新しい地域づくりを先導するという面でも、世界文化遺産に関連する地域が主体的に、何らかの共同事業・連携事業に取り組んでいくことの意義は大きい。

当資料に関するお問い合わせ

604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
上本能寺前町488 京都市文化財保護課内
電話:090-3924-7416 (担当:井戸)